

学校施設再編に関する住民説明会 質疑応答集（中間北小学校体育館）

- 開催場所 中間北小学校体育館
- 開催日時 令和4年11月27日（日） 14時から15時30分まで
- 参加人数 59名

※住民説明会での質疑応答の内容を下記のとおり取りまとめました。取りまとめに当たり、要約や補正を行っております。

※【 】は、ご質問・ご意見を項目ごとに分類したものです。

学校施設再編の取組み全般について	12件	学校施設の配置案について	5件
学校規模について	5件		
件数 計			22件

ご質問・ご意見	回答
<p>【学校施設再編の取組み全般について】</p> <p><u>○学校施設再編は、施設の問題ではなく、学校教育のシステムを変えていく問題だと思っている。50年以上、基本、校区で考えながら生活をされてきた。その中心に学校という施設があって、子供たち、親たち、卒業した人、一緒に活動している人たちの問題だと思う。そういうことを変えていくために、学校数をこういう風にしていきたいという説明があると思っていた。</u></p> <p><u>これまでの50数年の校区に関わる歴史を考えた時、1小1中は論外。もう一回考え直してほしい。中間市の教育に関わる根幹の問題をもう一回みんなのために、よりよくなるように計画を立てるという発想をしていただきたい。1小1中の案を出す前に、現在ある建物や施設を利用していくこと、過程を皆さんに説明した上で、これでは無理、だから学校再編をこんな風にしたいたいというような形で説明していただけないかと思う。</u></p>	<p>（回答）</p> <p>○中間市の歴史の中で、学校がだんだん増えていく中、小学校の校区が決められてきました。小学校の校区を基にまちづくり協議会がつくられ、子供たちの見守りをはじめ、色々な活動をしていただいています。この小学校区が、もし、いくつかの学校に少なくなったとしても、まちづくり協議会などの活動は、今までどおり活動していただきたいと思っています。</p> <p>学校教育のシステムを変えることについて、今回、学校施設再編基本計画策定委員会での議論は、学校の統合とか廃校というわけではございません。市全体を見たときに、いくつの学校が必要で、どこに置くべきか、どこに置くかは先の話になりますが、小学校がいくついるのか、中学校がいくついるのかを検討していただきました。その結論が、小学校3校以内、中学校は2校以内という形で案が出され、その案に沿いまして、市が持っている使える土地を最大限に利用していくべき</p>

ではないかということで、今回の案をその計画の中に組み込んでいきました。

今後は、市としてまちづくり等も検討しながら、経費の問題も並行して考え、実際の配置が決められてくる段階ですので、皆様のご意見をいただきながら決めていきたいと思っております。

<p>【学校規模について】</p> <p>○<u>舞鶴小中学校の施設説明の時に、子供一人一人が自由に伸びやかに広々とした環境で活動できるようにと説明があったが、資料の1小1中案、2小1中案には、課題として一人当たりの施設面積が狭くなり、活動に支障が生じる場合があるとあり、先ほどの紹介と矛盾する点を感じた。市は活動に支障が生じる場合があるという具体的なところをどういう風に考えているのか。</u></p>	<p>(回答)</p> <p>○限られた施設面積の中で多くの子供たちが通うとなると、子供たちが活動できる場所が狭くなってきます。体育館も1中の規模になった時には、相当な人数が入ってきて、ゆとりある教育活動ができるのか、授業も、児童生徒が増えれば、授業時間の組み方が困難になると聞いておりますので、あえて課題として書いております。</p> <p>1小1中案というのも、策定委員会の中で固められた意見の一つでございます。真摯に検討しなければいけないと思っております。</p>
<p>【学校施設再編の取組み全般について】</p> <p>○<u>学校再編をすることに否定的な意見が多いわけではない。進め方に否定的な意見が多く寄せられていると感じる。これだけ多くの否定的な意見が挙がっているので、4月に策定された基本計画を廃案にして、住民の皆さまの声を聞いた上で、基本計画をもう一度作られたらどうかと思う。それは可能でしょうか。</u></p> <p><u>どんな形で進めたとしても、今の子供たち、未来の子供たちのことを一番に考えて進めていただきたい。</u></p>	<p>(回答)</p> <p>○学校施設再編基本計画につきましては、策定委員会を組織し、持てる情報を全て出しながら、検討を進めてきたところですが、それだけ時間をかけてきたことを反対の意見があるからということで引っ込められるわけではございません。ただ、可能性が全くないと言われると、ないとは言えません。</p> <p>やり方に否定的な意見、考え方の順序が違うという話がありました。私たちは、どれだけの学校が今、それから20年後、30年後に必要なのかという検討から入っています。納得いただけない方もおられると思いますので、検討の課題として今後も考えさせていただきたいと思っております。</p>

【学校規模について】

○中間市の教育がどのようになるのか。すごく不安だと日々思っている。教職員アンケートについて、教職員の7割が1校案に反対意見を出しているというデータがあると聞く。見たわけではないが、それについて説明していただきたい。

○教職員の7割が1校案に反対と回答したのであれば、それに対して誠実に考えていただけたのか疑問に思う。どのように判断されて、今だに1校案を残されている説明をお願いしたい。

○アンケートがどのように具体的に審議されたのか、教職員もかなり色々な意見を出している。子供たちにできるだけ寄り添った教育をしていくことが中間市の良さではないかと思う。1校案や大規模校に対する不安が色々な学校から寄せられていると思う。それについて、策定委員会でどのように審議されたのか、できる範囲で教えていただけたらと思う。どのように審議されたのかが見えると、今後考えるときの参考になる。

(回答)

○教員アンケートで中学校1校案は、15.7%です。15.7%しか1校案が出ていないから、残りは全部1校案に反対であるとは考えられないと思います。策定委員会のメンバーは、教員だけではなく、まちづくり協議会の方にもお出でいただき、その中で出た結論です。教員の意見を無視したということでは決してございません。

○ご指摘いただきましたとおり、1校案や大規模校に対する不安というご意見をいただいております。一つ一つを詳らかに策定委員会の中で公表したわけではございませんが、教員の代表の方も策定委員会に入っていて、意見を出されております。それと同時に財政の集中であるとか、まちづくりのことも並行して審議していただいて出された結果でございます。

【学校施設の配置案について】

○コミュニティ広場について、地盤沈下がかなりひどい。きちんと地盤の調査をして、建てることを考えているのか。

○コミュニケーション能力とか人間関係づくりに学校はかなり重点を置いている。友達と一緒に勉強するとか、運動するとか、クラブするとか、そういう活動が子供たちにとっては楽しい学校。そのような学校に通わせたい。学校の先生からは、3クラスから4クラスが妥当ではないか、そういう視点で学校の規模を考えていくべき。

○住宅が密集し、車の交通量が多いところで、直線距離で2km。通学路で考えると2kmのところにいる人はもっと長い距離。特に小学校1年生はかなり時間をかけて歩いて行かなくてはいけないことを考えたとき、距離があれば事故の心配がある。実際の通学路、通学時間を検討すべき。

○バスの件は、他の学校でもかなり意見が出ていた。安全性の問題がある。バスに乗り遅れたとき、その子はどうなるのか、歩いて行くのか、家に帰ってしまうのか、人数が増えれば増えるほど、いっぱい出てくる。学校や先生にまた負担がかかってくるのではないか。バスに乗ってなかった子供たちの安否確認を誰がするのか。学校に任せるのか。バスが本当に安全に子供たちが安心して学校に行けるのか。問題を一つ一つ丁寧に住民、保護者、子供たちに向かって説明することが、信頼

(回答)

○コミュニティ広場の地盤ですが、体育文化センターなどいくつか建物が建っておりますが、建物を建てる際には、きちんと地盤まで杭を打って建物が沈んだりすることのないよう工事をしていきますし、今後も変わりなくやっていくものと思います。決してコミュニティ広場に建てることと決まったわけではございません。

○ある程度規模のある学校が必要であると思っています。では、どのくらいのクラス数、どれくらいの1学年の人数がいいのか検討していかなければいけないと思っています。

○通学距離の問題、2km、3kmに完全に当てはめようとするれば、今と同等の学校の数が必要になってくると思います。できる限り安全を考えながら、進めていくべきだと思います。特にバスに関して、安全に気を付けるということを強く考えていくべきではないかと思っています。

○スクールバスに乗り遅れた子供のフォローをどうしていくのか、先生の負担はどうなるのか、スクールバスは大きな課題です。スクールバスが導入になるのであれば、具体的な方針をつくり、しっかり対策を立てておくことを考えております。朝、学校に時間通りに来ていない子供がいるときに、必ず学校では連絡をとったり、家庭訪問をしています。確認がとれない子、何で来ていないのか気になっている子は、その時に授業がない先生が中心になってお迎えに行くなど取り組みをし

関係が生まれ、いい学校をつくっていこうとなるのではないか。もっといろいろな人を入れて、いろんな形で、いい学校をつくっていく、学校づくりを目指してほしい。中間市としてきちんとしたプロジェクトをつくって、現場の意見とかいろんなことを加味して、住民も一緒にやってできるようにしてほしい。住民も一緒にやってつくっていく風にすれば、なんて中間市はいいだろうと思って、他所からも来てくれるのではないか。そういう風な学校づくりをお願いしたい。

ています。市では、少人数学習指導教員として、独自の先生を市内全部で6人配置しています。このような人材を学校が再編されたら、より充実させて、学校規模に合わせてしっかりと人員をサポートしていくことを検討してまいります。大きな課題ですので、今すぐ解決策があるわけではございませんが、今後の協議の大きな柱になると考えています。

○教育委員会主体で進めておりますが、まちづくり等を並行して考えていきながら、市全体の問題として一日も早くプロジェクトを立ち上げて、きちんとした形で話を進めてまいりたいと思います。しかしながら、それぞれの学校で何をするのか、どういうことが欲しいというのは、教育委員会、それから教員の皆さんのご意見を聞きながら、しっかりと働きかけをしていきたいと思っています。

【学校施設の配置案について】

○コミュニティ広場に学校を建てるという案が5つある。学校を建てる
ことが適切だと思われる理由があったら聞かせてください。

【学校施設再編の取組み全般について】

○今在校生の保護者は、新しい小中学校ができる頃には、子供たちの大
部分は卒業している。自分たちの問題と言えるのか。今更言っても仕
方がない。本当は一緒に考えたい。

○私が教育長だったら、一番最初に子供の話を聞いた。子どもの権利条
約で子どもたちの権利がある。高校生の孫に市が学校を減らすと言っ
ていると話したら、中学校1校はありえない、スクールバスはないと
それだけ2つははっきりと言った。4km四方のコンパクトシティ、この
良さを生かすと市長さんはずっと言っているが、なんでスクールバス
がいるのか。やっぱり考えるべきと思う。

(回答)

○中間市はコンパクトで、市として持っている土地が非常に少ない。有
効活用できる場所が少ない。ある程度の広さが確保できる場所が今の
学校敷地であり、コミュニティ広場であり、検討しないわけにはいき
ません。

※ご意見のみいただきました。

○子どもの権利条約で子どもの尊重を謳っており、子どもの意見をどの
タイミングで聞かせていただくか、検討しているところです。新しい
学校ができる時に、何ができるようにしたいのか、子どもの意見、教
員の意見を聞かせていただきたいと考えています。

<p>【学校施設再編の取組み全般について】</p> <p>○<u>新聞で、3団体から延べ7, 200人分の署名が市長宛てに提出された</u>と見た。その署名の要望を具体的に教えていただきたい。</p> <p>○<u>教職員が働きたい学校とあるが、署名を出されたグループに先生の団体も入っていると見た。教職員が働きたい学校を目標にされているのに、具体的な要望はわからないが、何で先生からの署名が提出されたのかお聞きしたい。</u></p>	<p>(回答)</p> <p>○署名につきましては、学校再編の問題を十分に議論していただきたいという意見です。あと、底井野小学校の存続を求める署名をいただいています。署名につきましては、重く受け止めております。</p>
<p>【学校規模について】</p> <p>○<u>中間東小学校に通っている子供たちがすごく多いが、人数の多いところが省かれている。電停があるので、学校を壊してマンションを建てて人口を増やしたいという噂も出ている。子供のためと言っているけれども、そういう噂が出るのが不審に思う。学校の人数が多くなったとき、兄弟が多いと下の子を学童に預けて、お兄ちゃん、お姉ちゃん達が終わるまで待つと思う。人数が多くなっても管理できるのか。学校も学童も働いている親が多いので、そこらへんの考えまで持っているのか疑問に思う。</u></p>	<p>(回答)</p> <p>○今、どこにいくつ建てるというのは、はっきり決まっていない状態です。当然のことながら、マンションを建てるような計画は全くありません。跡地利用は、教育委員会だけで決めることでは決してございませんし、どこになるか分からない状態では、話ができていない状況です。</p> <p>中間東小学校は、児童がかなり多く、今学校敷地内に2つの学童保育所があります。十分な数ではないと考えているところです。再編に当たりましては、当然のことながら、学童保育所を並行して作っていくものだと考えております。十分に子供たちをお預かりできるような体制をとっていきたいと考えています。</p>

【学校施設再編の取組み全般について】

○学校施設整備に向けた基本的な考え方について、読ませていただいた。子供の意見、子供のためにどうなんだという言葉がほとんど出てきていない。子供たちにとって学校施設再編による施設整備をすることが、どれだけ効果があるのか。子供たち自身のために何がいいことなのか教えていただきたい。

○再編された場合に1クラスの人数がどれくらいになっていくのか。小学校の場合は1クラスにほとんど1人の先生が指導される。人数が多くなったらそれだけ先生の負担も多くなるし、子供も理解がしにくくなると思う。そういうところも含めて考えたとき、本当に学校の再編が必要なのか、子供の立場から考えていただきたい。学校が再編される中学校が令和9年4月、小学校が12年4月からとなっているが、その時点で、子供たちがどのくらい先生との必要な時間を確保できるのか、教えていただけたら、孫を学校に安心して預けられる。

○今、現在、42から43人だから1クラスの人数が少ない。再編したときに、1クラスの人数が多くなったら、それだけ先生と子供の関りの割合が少なくなるのではないかと。

(回答)

○学校に行く一番の楽しみは、友達と会うことであったり、一緒に遊んだりすることではないかと思います。もちろん勉強することも大事です。子供たちが色々な友達と関わって、色々な楽しい経験をいっぱい積んで、小学校は楽しかったねという思い出がいっぱいできる学校が、子供たちが通いたい学校に結果としてなると考えております。学級数が少ない1クラスの学校ですと進んでいった際に出会う同級生と、3クラスある学校で出会う同級生とは当然変わります。子供たちの学びは、先生一人から見てもらう、目の掛けられる度合いも大事ですが、同じくらい、どれくらいの子供と交わったか、同じ世代の子とどれだけ接することができたか、これもとても大事です。そのようなことを実現する、そして先生はしっかりと目を掛けられる、バランスをとって整備することが大事ではないかと考えております。

○クラスの上限人数は、現在、小学校3年生まで35人、それ以上は、40人学級となっております。これは学校の規模が変わったとしても、クラス的人数は変わりません。

○1クラス的人数自体が、今後、国も35人学級を進めて段階的に上がっていくと示しておりますので、小学校は35人まで教員1人が担当することになります。北小学校は現在20数名の学級が多くなっていますが、これは、上限の中で前後し、学年の人数に左右されますので、今後も起こり得ます。再編してもしなくても起こります。市としては、先生を1人ずつ配置できるよう努めています。再編を行う際には、1人の子供に対してできるだけ多くの先生の目を向けられるように、今後も努力していきたいと考えています。

○底井野小学校は、市内6小学校の中で一番児童数が少ないです。3学

○もし68人になったらどうなりますか。

年を見た時、底井野小学校は26人で1クラス、中間南小学校は、1クラス24から25人。実際は、底井野小学校の1クラスの人数より少ないです。クラスは3クラスなので、3人の先生が1学年を見ることができます。色んな教育活動がありますので、3人の先生が話し合いの中で進めることができること、クラス替えができること、1学年あたりの人数は、色んなところに影響するのではないかと考えております。

○68人は、2クラスです。35人学級でいうと、70人までが2クラスです。71人になれば、3クラスになります。

<p>【学校施設再編の取組み全般について】</p> <p><u>○なぜ、現状のままの施設を利用してやっていこうとする案がでないのか。何で新しい学校を建てようということばかりするのか。40年前に中間西小学校は人数が多いからできた。これは必然的。今ある校区で工夫してもやっていけないことを説明してください。何で今のままではいけないのか。ちゃんと説明してから新しいこんな学校ができるよと言われれば、そんな学校だったらいいじゃないですか。</u></p>	<p>※ご意見のみいただきました。</p>
<p>【学校施設再編の取組み全般について】</p> <p><u>○質問ではなく、教師としての意見、私の思いを最後に伝えたいと思い、手を挙げた。先生になり、究極の夢ができた。先生、私も先生になりたいと言う生徒を育てたい。教師が、一人一人に寄り添って熱い思いで子供たちに指導し、語り掛け、子供たちを見守り、育てていくから、子供たちにそんな思いが芽生えるのではないかと思う。どんな環境で子供たちが教育を受ければ、そんな思いが芽生えるのか、やはりコミュニケーションではないか。ただ授業さえしていればコミュニケーションがとれるのでしょうか。子供たちが本当に学校に笑顔で行って来ます、また次の日の朝も行って来ますと学校に笑顔で向かって行く子供たちは、どんな学校があると、どんな環境があるとそんな朝を迎えられるのか。大人がしっかり子供に寄り添って話を聞いてあげる、そんな毎日が大事なのではないかと思う。私たちは子供のために教師をしている。たくさんの生徒に寄り添って教師を続けたいと思う。一人でも多く、私も学校の先生になりたいと、そんな子を育てたいと思って日々教師生活を過ごしている。</u></p>	<p>※ご意見のみいただきました。</p>